エコアクション21

環境活動レポート

活動期間：平成 29 年 11 月 ～ 平成 30 年 10 月

第 9 版：平成 31 年 3 月 1 日 発行

Okamura 岡村建設工業株式会社

環　境　経　営　方　針

◆ 基本理念 ◆

当社は、創業以来地域の皆様に支えられ、「社会貢献につながる仕事」を基本理念として今日まで歩んでまいりました。

今後、ますます深刻化していくことが予想される、資源の枯渇等環境問題を社会の最重要課題の一つと捉え、当社の事業を通じて社会に貢献していくために、全社員一丸となり鋭意努力してまいります。

◆ 活動指針 ◆

1. 事業所及び現場で使用する化石燃料，電気使用量の削減に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 建設廃棄物の発生抑制・削減・再利用・リサイクルに取組み、産業廃棄物総排出量を削減します。
3. 水の使用量削減や現場における再生材の活用に取り組み、資源の効率的使用を推進します。
4. 環境に配慮した工法等の提案に取組み、その実施を目指します。
5. 地域住民に対してのボランティア活動を積極的に行い、環境保全に努めます。
6. 環境関連法規制等を遵守します。

この方針を全社員に周知徹底し、環境保全の意識向上に努めます。又、環境への取り組みを、環境活動レポートとして作成・公表します。

制定　　：平成 21 年　8 月　1 日
改定（第 1 回）：平成 21 年 12 月 10 日
改定（第 2 回）：平成 28 年　4 月 27 日

岡村建設工業株式会社
代表取締役　岡村　延昌

目　次

環境経営方針

1. 組織の概要 1

2. エコアクション 21　組織図及び実施体制 3

3. 環境負荷の実績及び環境経営目標 4

4. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 12

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
　　評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 16

6. 代表者による全体評価と見直しの結果 17

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

岡村建設工業株式会社

代表取締役　岡村　延昌

(2) 所在地

静岡県焼津市栄町 6 丁目 3 番 15 号

(3) 環境管理責任者

工務部　内藤　知範

(4) 連絡先

窓口担当者(環境事務局)　総務部　吉永　博和

TEL：054-627-5711

FAX：054-627-6312

E-mail：h_yoshinaga@okamura-cicl.com

(5) 事業内容

【特定建設業】

許可番号：　静岡県知事許可　特-26　第 5648 号

許可種類：　土木一式工事

とび・土工工事

鋼構造物工事

舗装工事

しゅんせつ工事

水道施設工事

【一般建設業】

許可番号：　静岡県知事許可　般-26　第 5648 号

許可種類：　管工事

造園工事

【焼津市指定給水装置工事事業者】

許可番号：第 216 号

【焼津市下水道排水設備指定工事店】

許可番号：第 135 号

(6)事業の規模

設　　立 ：昭和 42 年 11 月 27 日

資　本　金 ：2,000 万円

＜基準 45 期＞　売上高：995,984,730 円　工事件数：934 件

事業規模	単位	［第 49 期］ H27.11～H28.10	［第 50 期］ H28.11～H29.10	［第 51 期］ H29.11～H30.10
売上高	千円	1,714,216	1,250,813	1,529,419
工事件数	件	389	543	308
従業員数	人	36	37	32
本社床面積	m2	583	583	583

※年代別従業員数　20 代：8 人　30 代：3 人　40 代：8 人　50 代：6 人　60 代：7 人

(7)取得資格名及び有資格者数

1 級土木施工管理技士：　13 名　　2 級土木施工管理技士：　3 名

1 級造園施工管理技士：　1 名　　2 級造園施工管理技士：　1 名

1 級舗装施工監理技術者：　5 名　　2 級舗装施工管理技術者：3 名

2 級建設機械施工管理技士：　5 名

2 級管工事施工管理技士：　3 名

(8)産業廃棄物：収集運搬許可及び実績の状況

1)収集運搬許可取得状況

許可番号　：第 02201106063 号　　産業廃棄物の種類　：金属屑、がれき類

許可年月日(新規)：平成 15 年　9 月 18 日

許可の有効年月日：平成 30 年 10 月 17 日～令和 5 年 9 月 17 日

積替え許可の有無：無

許可車両一覧

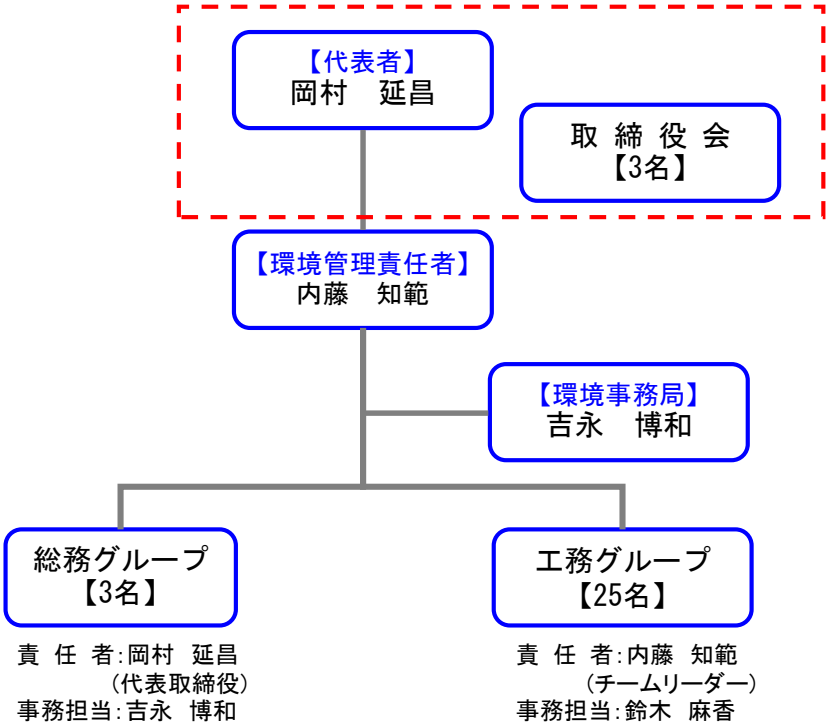
メーカー	型式・寸法	自動車登録番号	規模・能力(積載量)
いすゞ	ダンプ	静岡 400 な 623	3,000kg
日野	ダンプ	静岡 400 な 2703	3,000kg
いすゞ	ダンプ	静岡 400 な 6312	3,000kg
いすゞ	キャブオーバー	静岡 400 な 6313	2,000kg

2)過去 3 期の収集運搬実績

期	種　類	単位	数　量
49	がれき類	t	19.7
50	がれき類	t	15.0
51	―	―	―

2. エコアクション21　組織図及び実施体制

(1)組織図　　〈平成30年11月1日現在〉



(2)実施体制

職　　名	主 な 責 任 と 権 限
代表者	・環境経営方針を定める ・環境管理責任者を指名 ・資源(人材，資金，設備等)の用意 ・環境経営システムの評価と見直し
環境管理責任者	・環境経営システムの総責任者として必要な権限を持つ ・システムの構築，運用状況を代表者へ報告
環境事務局	・環境経営システム全体計画の立案 ・環境経営システム上の事務管理 ・環境経営活動実施計画の実績集計
各部門責任者	・各部門における計画推進状況の確認 ・上記において是正事項があった場合改善指示を行う。
各部署(全社員)	・定められた事項の遵守 ・問題の発見及び報告 ・環境経営活動への参加

3. 環境負荷の実績及び環境経営目標

(1)今期(第 51 期)の実績，目標の達成状況

1)二酸化炭素排出量及び総排水量

「3. 環境目標及び実績」の環境効率指標(実績／売上高(百万円))による目標設定と比較し、達成状況を報告する。

【事務所】: P8 参照

項　　目	単位	基　準 第45期 ＜H23. 11～H24. 10＞ 対売上実績	第51期 ＜H29. 11～H30. 10＞ 目標比率	目標数値 (対売上実績)	対売上実績	評　価
Co2総排出量	Kg-CO2	76. 48	-2. 5%	74. 57	28. 20	○
購入電力	kWh	54. 55	-2. 5%	53. 19	31. 28	○
灯油	L	0. 44	-2. 5%	0. 43	0. 00	○
重油	L					
都市ガス	Nm3	0. 18	-2. 5%	0. 18	0. 03	○
LPG	kg					
ガソリン	L	19. 43	-2. 5%	18. 94	5. 58	○
軽油	L					
水資源(上水)	m3	0. 35	-2. 5%	0. 34	0. 15	○

【現　場】: P9 参照

項　　目	単位	基　準 第45期 ＜H23. 11～H24. 10＞ 対売上実績	第51期 ＜H29. 11～H30. 10＞ 目標比率	目標数値 (対売上実績)	対売上実績	評　価
Co2総排出量	Kg-CO2	219. 33	-2. 5%	213. 85	99. 18	○
購入電力	kWh	1. 57	-2. 5%	1. 53	0. 00	○
灯油	L	0. 59	-2. 5%	0. 58	0. 42	○
重油	L	0. 20	-2. 5%	0. 20	0. 13	○
都市ガス	Nm3					
LPG	kg	0. 36	-2. 5%	0. 35	0. 20	○
ガソリン	L	35. 47	-2. 5%	34. 58	16. 77	○
軽油	L	51. 28	-2. 5%	50. 00	22. 19	○
水資源(上水)	m3					

2)廃棄物排出量

【事務所・現場】

項　　目	単位	基準 第45期 ＜H23.11～H24.10＞	第51期＜H29.11～H30.10＞ 目標比率	目標数値	実　績	評　価
一般廃棄物(可燃)	t	0.0708	-19.0%	0.0573	0.0475	○
一般廃棄物(再生)	t	0.0102	-5.0%	0.0097	0.0037	○

3)産業廃棄物排出量

産業廃棄物排出量については、受注工事量及び工事内容によって数量が変動するため、実績のみを集計，報告している。[全量再資源化している。(リサイクル法対象)]

(P11「3 (3) 4)産業廃棄物排出量」の実績参照)

4)混合廃棄物

各現場の一般廃棄物(混合)は、会社所有のクリーンボックスへ収集，一括処分している。(本項目については、第47期より実績を報告しているため第47期を基準とする。)

項　　目	単位	基準 第47期 ＜H25.11～H26.10＞	第51期＜H29.11～H30.10＞ 目標数値	実　績	評　価
混合廃棄物	t	2.94	2.03	2.16	×

5)グリーン購入

【事務所・現場】

項　　目	単位	基準 第45期 ＜H23.11～H24.10＞	第51期＜H29.11～H30.10＞ 目標数値	実　績	評　価
ｸﾞﾘｰﾝ購入(文具)	品目	12	24	18	×

― 総　評 ―

■ 現場における二酸化炭素排出量については、来期も遠方の現場が継続し、且つ、舗装工等施工内容も変化していく予定であるので、その推移に十分留意する。

■ 一般廃棄物は、不要になった紙類をゴミ箱へそのまま廃棄する等の不用意な行動をしないといった地道な日々の行いの結果、順調に減ってきている。

■ 目標未達成項目の混合廃棄物，グリーン購入については、以下の要因が考えられる。

・混合廃棄物：当該廃棄物が発生した現場が多かったため。(静岡県及び焼津市小規模修繕業務の指示内容(廃棄物の撤去等)による)

・グリーン購入：物品購入時対象品目の購入を、会社としては経費削減の観点から選別していることを考慮せず、現場サイドで目標数値を基準の2倍と高く設定し過ぎたため。

(2)環境目標(中期)

1)二酸化炭素排出量及び総排水量

「二酸化炭素排出量及び総排水量」については、環境効率指標(実績／売上高(百万円))で環境負荷の環境目標を設定する。

【事務所】

項　　目	単位	基　準 第45期 ＜H23.11～H24.10＞ 対売上実績	第52期 ＜H30.11～R1.10＞ 比　率	目標数値 (対売上実績)	第53期 ＜R1.11～R2.10＞ 比　率	目標数値 (対売上実績)	第54期 ＜R2.11～R3.10＞ 比　率	目標数値 (対売上実績)
Co2総排出量	Kg-CO2	76.48	-3.00%	74.19	-3.50%	73.80	-4.00%	73.42
購入電力	kWh	54.55	-3.00%	52.91	-3.50%	52.64	-4.00%	52.37
灯油	L	0.44	-3.00%	0.43	-3.50%	0.42	-4.00%	0.42
重油	L							
都市ガス	Nm3	0.18	-3.00%	0.17	-3.50%	0.17	-4.00%	0.17
LPG	kg							
ガソリン	L	19.43	-3.00%	18.85	-3.50%	18.75	-4.00%	18.65
軽油	L							
水資源(上水)	m3	0.35	-3.00%	0.34	-3.50%	0.34	-4.00%	0.34

【現　場】

項　　目	単位	基　準 第45期 ＜H23.11～H24.10＞ 対売上実績	第52期 ＜H30.11～R1.10＞ 比　率	目標数値 (対売上実績)	第53期 ＜R1.11～R2.10＞ 比　率	目標数値 (対売上実績)	第54期 ＜R2.11～R3.10＞ 比　率	目標数値 (対売上実績)
Co2総排出量	Kg-CO2	219.33	-3.00%	212.75	-3.50%	211.65	-4.00%	210.56
購入電力	kWh	1.57	-3.00%	1.52	-3.50%	1.52	-4.00%	1.51
灯油	L	0.59	-3.00%	0.57	-3.50%	0.57	-4.00%	0.57
重油	L	0.20	-3.00%	0.19	-3.50%	0.19	-4.00%	0.19
都市ガス	Nm3							
LPG	kg	0.36	-3.00%	0.35	-3.50%	0.35	-4.00%	0.35
ガソリン	L	35.47	-3.00%	34.41	-3.50%	34.23	-4.00%	34.05
軽油	L	51.28	-3.00%	49.74	-3.50%	49.49	-4.00%	49.23
水資源(上水)	m3							

2)廃棄物排出量

【事務所・現場】

基　準

項　　目	単位	第45期 ＜H23.11～H24.10＞	第52期 ＜H30.11～R1.10＞	第53期 ＜R1.11～R2.10＞	第54期 ＜R2.11～R3.10＞
一般廃棄物(可燃)	t	0.0708	前期より-19.5%	前期より-20.0%	前期より-20.5%
一般廃棄物(再生)	t	0.0102	前期より-5.5%	前期より-6.0%	前期より-6.5%

3)産業廃棄物排出量

産業廃棄物排出量については、受注工事量及び工事内容によって数量が変動するため、目標は設定せず実績のみを集計する。[全量再資源化している。(リサイクル法対象)]

(P11「3 (3) 4)産業廃棄物排出量」の実績参照)

4)混合廃棄物

各現場の一般廃棄物(混合)は、会社所有のクリーンボックスへ収集，一括処分している。(本項目については、第47期より実績を報告しているため第47期を基準とする。)

基　準

項　　目	単位	第47期 ＜H25.11～H26.10＞	第52期 ＜H30.11～R1.10＞	第53期 ＜R1.11～R2.10＞	第54期 ＜R2.11～R3.10＞
混合廃棄物	t	0.0113	0.0073	0.0068	0.0063

5)グリーン購入

経費削減の観点から、対象品目全てを購入することは困難であるため、今後は数値目標は立てず無理のない範囲でグリーン購入を促進していきたい。

6)環境に配慮した工事施工の実施

環境に配慮した工事施工の実施については、数値化した目標の設定が難しいため、環境活動計画に掲げ、推進することとする。

(P12「4 (1)環境活動計画」参照)

(3)環境負荷の実績

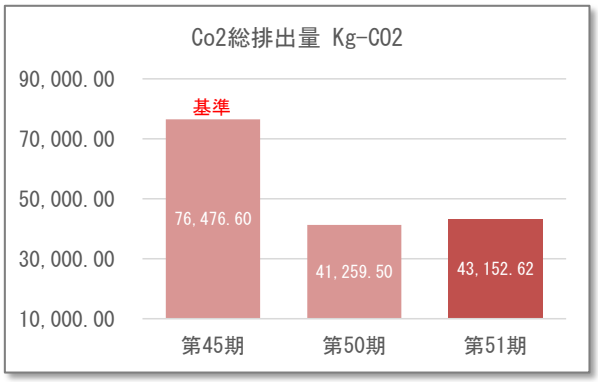
1)二酸化炭素排出量及び総排水量

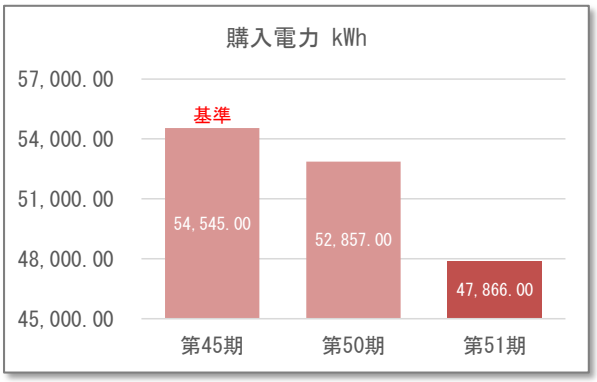
「二酸化炭素排出量及び総排水量」については、環境効率指標(実績／売上高(百万円))で環境負荷の実績を報告する。

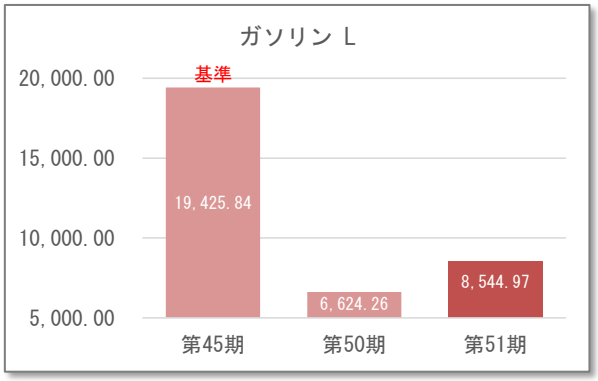
【事務所】

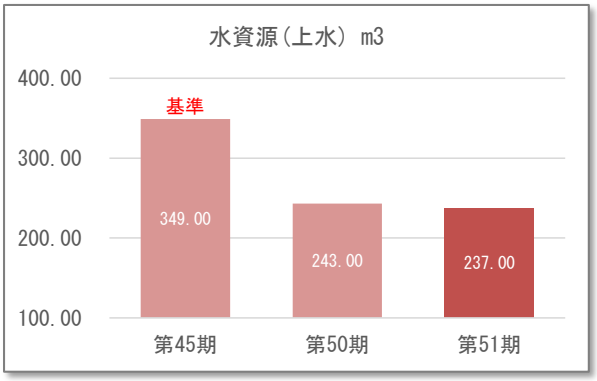
基　準

項　　目	単位	第45期＜H23.11～H24.10＞ 売上高： 1,000百万円		第50期＜H28.11～H29.10＞ 売上高： 1,250百万円		第51期＜H29.11～H30.10＞ 売上高： 1,530百万円	
		実　績	対売上実績	実　績	対売上実績	実　績	対売上実績
Co2総排出量	Kg-CO2	76,476.60	76.48	41,259.50	33.01	43,152.62	28.20
購入電力	kWh	54,545.00	54.55	52,857.00	42.29	47,866.00	31.28
灯油	L	443.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00
重油	L						
都市ガス	Nm3	180.00	0.18	116.00	0.09	47.00	0.03
LPG	kg						
ガソリン	L	19,425.84	19.43	6,624.26	5.30	8,544.97	5.58
軽油	L						
水資源(上水)	m3	349.00	0.35	243.00	0.19	237.00	0.15





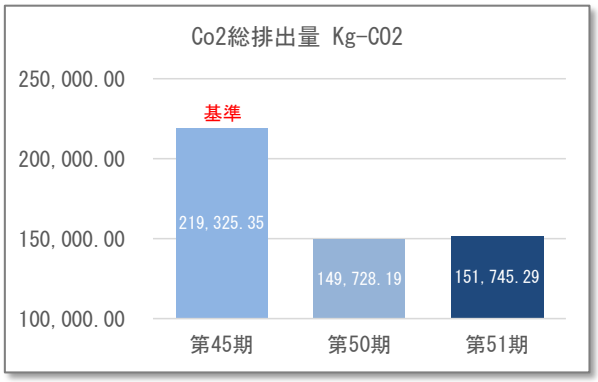


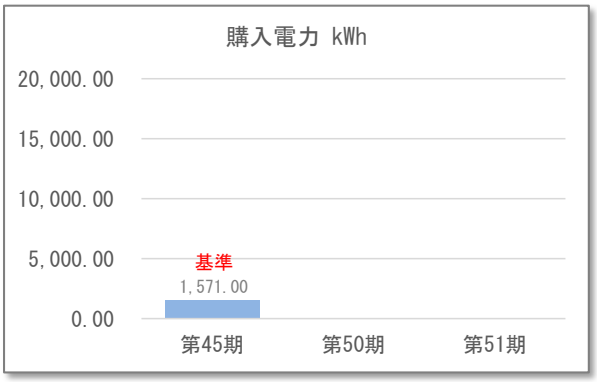


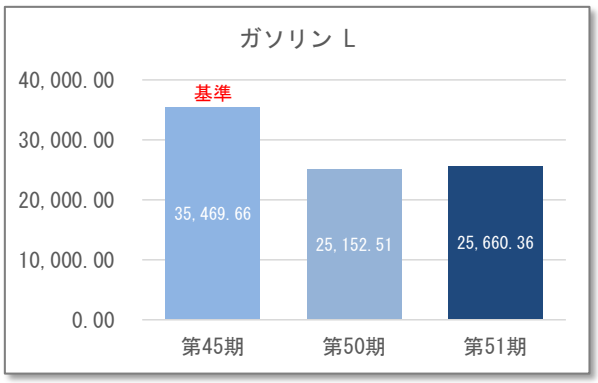
【現　場】

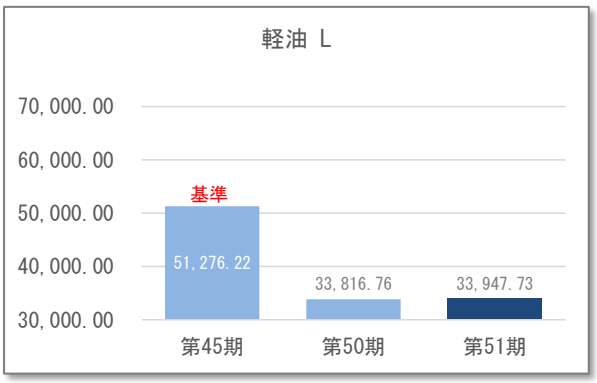
基　準

項　　目	単位	第45期＜H23.11～H24.10＞ 売上高： 1,000百万円		第50期＜H28.11～H29.10＞ 売上高： 1,250百万円		第51期＜H29.11～H30.10＞ 売上高： 1,530百万円	
		実　績	対売上実績	実　績	対売上実績	実　績	対売上実績
Co2総排出量	Kg-CO2	219,325.35	219.33	149,728.19	119.78	151,745.29	99.18
購入電力	kWh	1,571.00	1.57	0.00	0.00	0.00	0.00
灯油	L	591.00	0.59	0.00	0.00	650.00	0.42
重油	L	200.00	0.20	540.00	0.43	200.00	0.13
都市ガス	Nm3						
LPG	kg	358.50	0.36	374.00	0.30	306.00	0.20
ガソリン	L	35,469.66	35.47	25,152.51	20.12	25,660.36	16.77
軽油	L	51,276.22	51.28	33,816.76	27.05	33,947.73	22.19
水資源(上水)	m3						









・各現場には水道施設を設置していない。

・現場の購入電力は、仮設低圧電力のみ計上。

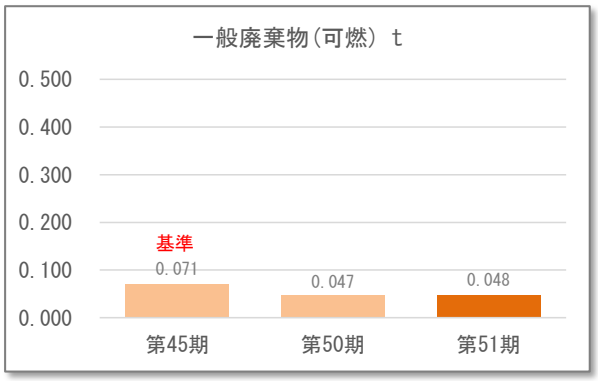
・電力の Co2 排出係数は、中部電力(株)平成 28 年度数値「0.485」を使用。

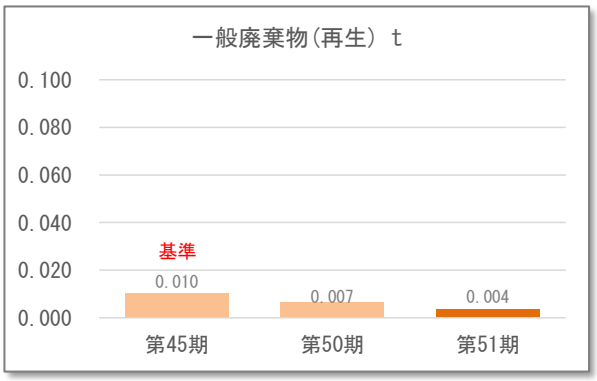
2)廃棄物排出量

基　準

項　　目	単位	第45期＜H23.11～H24.10＞	第50期＜H28.11～H29.10＞	第51期＜H29.11～H30.10＞
一般廃棄物(可燃)	t	0.0708	0.0472	0.0475
一般廃棄物(再生)	t	0.0102	0.0065	0.0037

【事務所・現場】

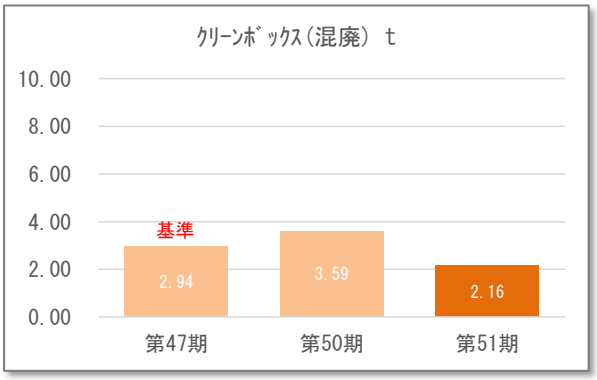




【現場】

基　準

項　　目	単位	第47期＜H25.11～H26.10＞	第50期＜H28.11～H29.10＞	第51期＜H29.11～H30.10＞
混合廃棄物	t	2.94	3.59	2.16



・各現場の一般廃棄物(混合)は、会社所有のクリーンボックスへ収集，一括処分している。(本項目については、第 47 期より実績を報告しているため第 47 期を基準とする。)

3) 産業廃棄物排出量

産業廃棄物排出量については、受注工事量及び工事内容によって数量が変動するため、目標は設定せず実績のみを集計する。[全量再資源化している。(リサイクル法対象)]

【現　場】

基　準

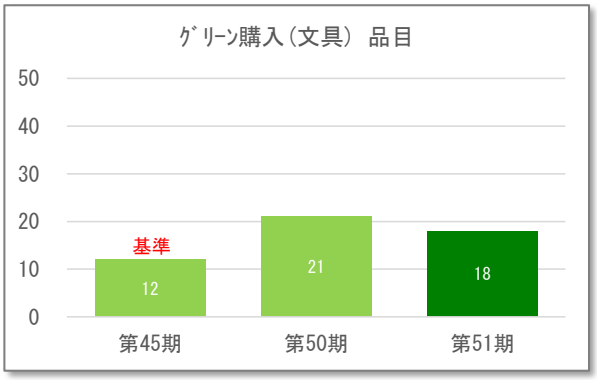
項　　目	単位	第47期＜H25.11～H26.10＞	第50期＜H28.11～H29.10＞	第51期＜H29.11～H30.10＞
アスファルトガラ	t	4,055.10	3,270.27	4,095.83
コンクリートガラ	t	411.67	1,167.60	184.50
建設汚泥	t	－	－	－
木くず	t	12.46	14.00	2.85

4) グリーン購入

【事務所・現場】

基　準

項　　目	単位	第45期＜H23.11～H24.10＞	第50期＜H28.11～H29.10＞	第51期＜H29.11～H30.10＞
ｸﾞﾘｰﾝ購入(文具)	品目	12	21	18



4. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1)環境活動計画

推進計画	実施内容	責任者	活　動　内　容
CO_2 排出量の削減	建設機械の管理	正：望月 副：吉永	・アイドリングストップの徹底 ・過積載をしない。 ・排出ガス対策型，低騒音重機の積極使用
	車両の管理	正：望月 副：小野	・アイドリングストップの徹底 ・エコドライ心掛ける。 ・車内の整理，整頓の徹底
		正：吉永 副：岩本	・各車両の燃費管理
	電気使用量の削減 (事務所)	正：吉永 副：岩本	・不在時は電気を消灯する。 ・PC 未使用時は電源を切る。 ・エアコン使用時の室内温度は冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安とする。
廃棄物排出量の削減	マニフェスト伝票管理	鈴木	・管理記録簿作成
	用紙使用量の削減	正：吉永 副：岡村	・内部資料等は裏紙を使用する。 ・印刷時はプレビューにて確認する。 ・社員への連絡は社内メールを活用する。
資源の効率的な使用	水道使用量の削減	正：吉永 副：岡村	・節水の実行(手洗い時こまめに栓を閉める等) ・貯水の活用(夏期)
	グリーン購入	正：吉永 副：岡村	・事務用品を整理整頓することで無駄な購入を回避する。 ・今後物品購入時、可能な物についてエコ用品に切り替えていく。
	現場で使用する資材ついて	各工事担　当	・工事看板等に間伐材を使用する(可能な場合)等、リサイクルを心掛ける。
環境活動への取組	社員への定期的な啓蒙	正：吉永 副：鈴木	・毎月定例の朝礼にて、確認，呼びかけを行う。 ・社内に節電する旨等、社員に協力を促す注意書を掲示する。 ・毎月一度、災害防止協議会を実施する。
	環境に配慮した工事施工の実施	正：鈴木 副：内藤	・施工箇所の特性を考慮し、当該箇所の環境を保持する工夫を考える。
	地域への貢献	正：浦田 副：見崎	・草刈り等地域の美化活動に積極的に参加する。 ・交通安全立哨活動の実施(年 4 回)

(2)取組結果とその評価

※　評価基準　○：実施した　△：1部改善の余地がある　×：ほとんどできていない

推進計画	実施内容	活動期間(H29.11～H30.10)	評価	評価日
CO_2 排出量の削減	建設機械の管理	・アイドリングストップの徹底	○	11／15
		・過積載をしない。	○	11／15
		・排出ガス対策型，低騒音重機の積極使用	○	11／15
	車両の管理	・アイドリングストップの徹底	○	11／15
		・エコドライブを心掛ける。	○	11／15
		・各車両の燃費管理	○	11／15
	電気使用量の削減(事務所)	・不在時は電気を消灯する。	△	11／15
		・PC 未使用時は電源を切る。	○	11／15
		・エアコン使用時の室内温度は冷房時 28℃、暖房時 20℃を目安とする。	△	11／15
		・使用量をグラフ化して掲示する。	○	11／15
廃棄物排出量の削減	マニフェスト伝票管理	・管理記録簿作成	○	11／15
	用紙使用量の削減	・内部資料等は裏紙を使用する。	○	11／15
		・印刷時はプレビューにて確認する。	△	11／15
		・コピー機使用状況をグラフ化し掲示する。	○	11／15
資源の効率的な使用	水道使用量の削減	・節水の実行(手洗い時こまめに栓を閉める等)	○	11／15
		・使用量をグラフ化して掲示する。	○	11／15
	グリーン購入	・事務用品を整理整頓することで無駄な購入を回避する。	△	11／15
		・今後物品購入時可能な物についてエコ用品に切り替えていく。	△	11／15
	現場で使用する資材について	・工事看板等に間伐材を使用する(可能な場合)等、リサイクルを心掛ける。	－	11／15
環境活動への取組	社員への定期的な啓蒙	・毎月定例の朝礼にて、確認，呼びかけを行う。	○	11／15
		・社内に節電する旨等、社員に協力を促す注意書を掲示する。	○	11／15
	環境に配慮した工事施工の実施	環境に配慮した機械，車両等及び再生材を使用する。 ・機　械：低騒音型，第 3 次排出対策型機械の使用 ・車　両：社有車の半数をハイブリッド車に変更 ・再生材：再生 As 合材，再生砕石等の使用	○	11／15
	地域への貢献	・交通安全立哨活動の実施(年 4 回)	○	11／15

環境活動への取り組み

立哨活動

当社では、年４回の交通安全運動期間中、全社員及び協力会社の方々と、自社前において交通安全を呼びかける立哨活動を行っておりますが、各現場施工周辺においても交差点や通学路に立ち、通勤，通学途中の方達へ交通安全を呼び掛けています。このように当社の交通安全への取り組み姿勢を地域住民に示すことで、皆様と共に私達も更なる交通安全に対する意識の向上を図ることができると考えております。

カーブミラー清掃

当社では、各工事現場において施工範囲及びその周辺のカーブミラーの清掃を実施しております。カーブミラーの汚れを丁寧に拭き取り、見えにくい角度になってしまっている等修正が必要なものはその場で対処しました。今後もこの活動を継続していきたいと思います。

(3) 次年度の取組内容

環境活動計画　第51期　平成29年11月～平成30年10月

推　進　計　画	実施内容	担当部署	担当者	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	備考
CO2排出量の削減																
化石燃料の使用量削減	エ　コ　ド　ラ　イ　ブ　の　励　行			各車両・重機にｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞｼｰﾙ貼付済												毎月の朝礼にて確認・呼びかけ
車両の管理	定期的に車両の点検を実施（点検日：毎月第1月曜日）	全部署	望月	→												毎月の請求書より集計（事務局）
	急発進・急加速はしない。 各車両燃費管理の徹底		全員	→												走行記録管理票より集計・管理（事務局）
建設機械の管理	建設機械の点検を実施（作業使用毎に点検） 未使用時のアイドリングストップ 過積載をしない。 排出ｶﾞｽ対策型，低騒音重機の積極使用	各現場	各現場担当	→												
※電気使用量の削減	不在時の電気消灯 ﾊﾟｿｺﾝ未使用時の電源OFF 室内温度は夏期28℃、冬期20℃を目安	全部署	吉永	→												毎月の朝礼にて確認・呼びかけ 毎月の請求書より集計（事務局）
廃棄物排出量の削減																
ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ伝票管理	管理記録簿作成	工務部	鈴木	→												電子化へ移行
※用紙使用量の削減	コピー・プリントアウトは必要最小限にする。 コピー用紙の裏面再利用の徹底 印刷時はﾌﾟﾚﾋﾞｭｰにて確認をする。	全部署	岩本	→												毎月の朝礼にて確認・呼びかけ 社内ﾈｯﾄｰﾜｰｸ利用ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽに努める 毎月の請求書より集計（事務局）
資源の効率的な使用																
水道使用量の削減	節水の実行（手洗い時こまめに栓を閉める等）	全部署	岩本	→												毎月の朝礼にて確認・呼びかけ
※グリーン購入	物品購入の際、可能な物についてエコ用品へ切替			→												ｸﾞﾘｰﾝ購入手順書
現場使用の資材購入	工事看板等に間伐材を使用（可能な場合）等、ﾘｻｲｸﾙを心掛ける。 再生資材の購入、使用	各現場	各現場担当	→												現場材料の発注は計画的にする。
環境配慮の取組																
社員への定期的な啓蒙	毎月定例の朝礼にて、確認，呼びかけを行う。 社内に節電する旨等、社員に協力を促す。 毎月一度、災害防止協議会を実施	全部署	吉永	→							安全週間 →		安全週間 →			情報・資料の収集、提供 四半期集計表を社内に掲示
※環境に配慮した工事施工の実施	施工箇所の特性を考慮し当該箇所の環境を保持する工夫を考える 環境に配慮した機械、車両及び再生材等の使用	各現場	各現場担当	→												
地域への貢献	環境美化活動の実施 交通安全活動	全部署	浦田	→												8月道路愛護 年4回 立哨
環境活動の推進サイクル	四半期ごとの状況確認（1月・4月・7月・10月） 取組への評価	代表者及び環境管理責任者及び実務担当者		→		→		→		→						実績集計表の作成

※：次年度重点課題

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

(社) 日本建設事業者団体連合会監修の「環境法規制等遵守チェックリスト」を自社用に編集し、必要な届出がされているか等について確認した。

環境関連法規等の遵守確認結果、違反はありません。

遵守評価者：吉永　博和

法規則等の名称	確　認　内　容	遵守状況	評価日
建設業法	・建設業の許可(写し)の現場内掲示の有無	適正	11／10
労働安全衛生法	・現場備付安全書類を確認	適正	11／10
廃棄物処理法 〈建設廃棄物処理指針〉	・収集運搬業者，処分業者との委託契約 ・自社収集運搬業の許可更新 ・処分状況確認(処分場の現地確認) ・産業廃棄物管理責任者の設置 ・電子マニフェスト対象案件の適正管理(廃棄物を収集運搬業者または処分業者に引き渡した日から 3 日以内に情報処理センターに登録) ・マニフェスト交付票の保管及び交付実績のデータベース化	適正	11／10
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・本条例に基づく産業廃棄物処理計画実施状況報告書及び産業廃棄物処理計画書，産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付等状況報告書の提出	適正	11／10
建設リサイクル法 〈再生資源利用省令、指定副産物利用促進省令、建設副産物適正処理推進要綱〉	・再資源利用計画書，実施書の作成 ・再資源利用促進計画書，実施書の作成 ・「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成，実施状況の記録を 1 年間保管 ・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第 12 条第 1 項の規定」により、対象建設工事の届出を発注者へ行う。	適正	11／10
騒音規制法	・低騒音型建設機械であることの確認(現場持込時関連書類の提出の徹底)	適正	11／10
振動規制法	・低騒音型，低振動型建設機械であることの確認(現場持込時関連書類の提出の徹底)	適正	11／10
大気汚染防止法	・排出ガス対策型であることの確認(現場持込時関連書類の提出の徹底)	適正	11／10
環境基本法	・一般的な自主努力	適正	11／10
地球温暖化対策推進法	・温室効果ガスの抑制	適正	11／10
循環型社会形成推進基本法	・3R(Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)への努力	適正	11／10
フロン排出抑制法	・空調機器の簡易点検(3 ヶ月に 1 回)、圧縮機定格出力に応じた定期点検の実施 ・冷凍冷蔵機器の簡易点検(3 ヶ月に 1 回)の実施	適正	11／10

(2) 違反、訴訟等の有無

関係機関からの違反指摘及び、利害関係者からの苦情，訴訟等は過去 3 年間ありませんでした。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体評価と見直しを行った結果は以下のとおりである。

土木事業と環境問題は、表裏一体の側面があります。私たちの業界では、環境に影響を及ぼす可能性のある事業に係わる機会も多々あり、日々の業務においても、騒音・振動，排気ガス等による地域住民への影響に対する懸念等は常に留意しておく必要があるからです。

よって、施工面積や施工箇所までの距離等数字として表れる物理的なことだけではなく、施工範囲及びその周辺における動植物の多様性等、現地環境の状態といった工事毎によって異なる特性を十分に理解して、想像力をもって創意工夫し対処していくことが求められます。

この「創意工夫」こそが自分たちのオリジナリティであり、基本理念に掲げた「社会貢献につながる仕事」として表現されるという意識を、私たちはもっと持つことが重要だと思います。

平成 31 年 3 月 1 日

岡村建設工業株式会社

代表取締役　岡村　延昌